

禅寺特訓道場 7つの基本対策

1、少人数開催で密集・密接を回避

最少催行人数5名、最大でも十数名での少人数開催で、お寺の広い敷地をフル活用します。ですから「密集」「密接」は回避できます。

2、屋外研修と換気で密閉を回避

関東は屋外での研修が長時間あります。関西は全て屋内ですが、基本的に扉や窓を全開で換気しっ放しなので「密閉」は回避できます。

3、検温による徹底管理

集合時の検温で37.5℃以上ある人、それ以外にも不安のある人は参加禁止です。研修中も、定期的に検温をして体調管理をします。

4、マスクやシールドの着用

2泊3日の間は、マスクやフェイスシールドマウスシールド等の着用を徹底してもらいます。ビニール手袋も一部で使用します。

5、手洗いと消毒の徹底

研修の合間や移動の後など、区切り区切りで入念な手洗いとアルコール消毒を徹底してもらいます。

6、間隔を空けた運営

それぞれが両手を広げても、絶対にぶつからない間隔で研修を進めます。もちろん、間隔が空いていても、不必要な会話は厳禁です。

7、限られた人との交流

以上の対策を取っている僧侶、講師、受講者以外の人とは、一切交流しません。不特定多数の人と会わないことが大事です。

